

「特集」年間1000件以上の手術を行なう全国有数の耳鼻咽喉科に聞く、最先端の副鼻腔炎内視鏡手術とは？

慢性的な悩みを解決に導く 最先端の外科的治療を提案

慢性的な鼻つまりで嗅覚障害が起きたり
風邪を引くと息苦しさや頭痛に悩まされたり。
近年、患者数が急増している好酸球性副鼻腔炎について
坂口耳鼻咽喉科の西嶋利光医師に話を聞いた。

少しでも
気になったら
まずは気軽に
受診して
ください。



医療法人SSC
坂口耳鼻咽喉科
西嶋利光 先生

2008年九州大学医学部卒業。九州大学病院、聖マリア病院、佐世保共済病院、JCHO九州病院、祐愛会織田病院などを経て現職。日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医。日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医。医学博士（九州大学 大学院）

慢性的な疾患の根治をめざす 最先端の手術や治療を提案

「鼻つまりの症状が慢性化している」「鼻水が止まらない」「鼻がつまると頭や頬が痛くなる」「薬を服用しているけれど完全には解消されない」など、鼻の疾患で悩む人は少なくない。なかでも、ここ数年で認知され患者数が増加しているのが、薬が効きにくく手術をしても再発する可能性が高いことなどを理由に、国の難病指定を受けている好酸球性副鼻腔炎だ。

「好酸球性副鼻腔炎は、両側の鼻の中に多発性の鼻茸（鼻ポリープ）ができ、鼻つまりや嗅覚障害、粘り気の強い鼻水が出るなどの症状が起きます。一般的に慢性副鼻腔炎は抗菌薬と内視鏡を用いた手術で副鼻腔を開放することで治るケースが殆どですが、好酸球性副鼻腔炎の場合は手術をしても半数程度が再発してしまうのが特徴です。当院では年間1000例以上の内視鏡下鼻・副鼻腔手術を行なっており、その数は全国的に見ても高い実績を誇っており、慢性的な症状に悩んでいた方が医師の紹介で来院されることも少なくありません」と、西嶋先生は言う。

その評判を聞き、県外から受診に訪れる患者も多いが、患者の症状に応じて、さまざまなオプションが用意されていることも、同院が高い支持を集める理由の一つとなっている。たとえば、嗅覚障害がある場合は嗅裂を広げ空気の通りをよくする手術を行なう。また、好酸球性副鼻腔炎の原因の一つでもある粘膜炎を可能な限り取り除き、新たな粘膜炎を再生する術式を用いて再発のリスクを抑えることもある。昔前まで、鼻の外科手術は歯肉の上方を切開し上顎の骨を削るなど、患者への負担が大きかった

が、内視鏡技術の進化により、切開や切除を必要最小限に抑えた手術が可能になったことも、同院の手術件数増加の要因となっている。

一方、同院では好酸球性副鼻腔炎に対する新たな治療薬「デュピクセント」を採用し、2020年3月よりこの薬を使用した治療をスタートさせた。

「好酸球性副鼻腔炎が再発した場合、これまではステロイドを用いることしかできませんでした。ステロイドは長期的に服用することは避けた方がいいとされ、ステロイドの内服を中止すると、鼻茸（鼻ポリープ）が再び大きくなり、再発して

症状を憎悪させてしまうことも少なくありません。デュピクセントは、ステロイドよりも高い効果を発揮するだけでなく、副作用も抑えることができます。当院はこの薬をいち早く採用したこともあり、九州内の大学病院よりも使用例が多く、おそらく九州で最もこの治療を行なっていると言っても過言ではありません。ただ、高額な薬であり、使用条件も詳細に決められているので、まずは医師に相談してください」。

後はずっと日常生活を送っていたことができず。以前であれば時間が取れないと手術を諦めていた人も、短期間で手術が可能になったことにより、手術を決定するケースが増えていきます。術後3ヶ月ほどで鼻の通りが良くなり、嗅覚障害が改善するとあって、その劇的な変化はとても喜んでいただいています」と西嶋先生。一般的に耳鼻咽喉科のクリニックは、服薬などの保存的治療に特化しているため、手術をすることで症状の大きな改善が見込めることを知らない人も多い。そうだが、長期的に症状に苦しんでいる人や、根本から治療したいと考えている人は、手術という選択肢があることも知っておきたい。

各分野のスペシャリストが 慢性的な悩みを解決へ導く

好酸球性副鼻腔炎は、小さかった鼻ポリープ（鼻茸）が次第に大きくなり殆どが20歳以上で発症する。アレルギー体質の患者の増加やPM2.5といった周辺環境の変化もあり、患者数は現在も増加傾向にあるようだ。「コーヒーの香りがしないとか、何を食べても美味しくないなど、ちよつとおかしいなと思ったら気軽に受診してください。当院はCTなどの検査環

境も充実しており、クオリティの高い検査を行なうことができます。何もなければ安心できますし、疾患がわかったときは一人ひとりの状況に応じた治療や手術を提案します。慢性的な症状になると根治は難しいと諦めてしまう方もいますが、その結果、重症化してしまうケースもあります。当院では土曜や日曜も診察を行なっていますので、鼻はもちろん、耳や喉の悩みをお持ちの方も気軽に相談して欲しいですね」と西嶋先生は言う。

また、同院は福岡県内に7つの医院を展開する九州最大規模の耳鼻咽喉科専門医療法人「SSCグループ」の本院としての機能を持っている。同グループに所属する医師は、決められた医院にいるのではなく、交代でさまざまなクリニックで診察を行なう。「各分野のスペシャリストが揃っており、ほかの医師が得意とする分野の疾患の可能性がある場合は、担当が変わることもあります。多面的な視点で治療が受けられるのも、当院の強みではないでしょうか」。

「もっと早く相談すればよかった」「想像していたよりも負担が少なかった」「日帰り手術で根治でき、快適な日常生活が送れるようになった」といった声が多数届く同院。外科的治療の専門耳鼻科として高い信頼を得ている同院へ。まずは気軽に相談してみたいかがだろう。



患者一人ひとりに真摯に向き合う西嶋先生



検査・手術・術後のフォローまで対応。入院施設も備える



福岡都市高速石丸ICのすぐそばあり、アクセスも抜群!

耳・鼻・喉の悩みがある人は 気軽に相談して欲しい

鼻つまりがひどいケースは 手術をおこない根治をめざす

花粉やダニなどの特定の物質を異物とみなし、体内から異物を排除しようと、くしゃみや鼻水、鼻つまりが生じてしまうアレルギー性鼻炎もまた、生活環境や食生活の変化に伴い患者数が増加している。日本人の約40%が何らかのアレルギー性鼻炎を持っていると言われており、同院を受診する患者も多い。問診や視診に加え、必要に応じて血液検査やCT等で病状を評価している。内服治療や点鼻治療といった対症療法を行なうこともあるが、同院では、後鼻神経切除術や粘膜下鼻甲介骨切除術といった手術で徹底した症状の改善を目指している。

「アレルギー性鼻炎の症状の中でも辛いのは鼻つまりです。鼻水などは対症療法で比較的抑えられますが、鼻つまりが酷くなると保存的治療でコントロールすることは難しくなります。特に夜間に鼻閉が酷くなることも多く、口呼吸による口



CTやレントゲンの写真のほか、イラストや模型などを駆使してわかりやすい説明を行なう西嶋先生

腔内の乾燥、いびきや睡眠時無呼吸の原因になり、眠りを浅くしてしまうほか、勉強や仕事、スポーツなどに集中できないといった二次的な影響を及ぼしてしまうこともあります。手術をすることで95%以上の患者さんは日常生活に支障がないところまで症状が改善され、効果も持続します。今後の勉強やスポーツなどに支障をきたすことが想定される場合は、8歳以上であれば手術もできます。アレルギー性鼻炎の根治を目指したい方も、ぜひ同院で診察を受けてほしい。

鼻の手術の経験を生かし 耳の疾患も内視鏡手術を実施

鼻の内視鏡手術に定評のある同院では、近年、耳の疾患に対しても手術による根治をめざした治療を行なっている。訊けば、耳の内視鏡手術を行なうクリニックは全国的にもまだそう多くないそうだ。慢性中耳炎や滲出性中耳炎は症状に応じて手術を選択し、真珠腫性中耳炎の場合は基本的に手術を行なう。同院では熟練の技術を持つ医師が執刀にあたるため、鼻の手術同様、耳の手術



白を基調とした清潔感あふれる診察室。土曜や日曜も診察を行なっている

も日帰りや1泊2日での手術が可能。患者の身体や日常生活への負担を最小限に抑えつつ、辛い症状を根治させることができる。

年間1434例(2020年実績)の手術を実施しており、圧倒的な実績のある同院には、最新のナビゲーションシステムを備えた手術室を完備。麻酔医が常駐しており、専門的な指導のもと、迅速かつ安全な手術を行なっている。また、外来では初診の段階でCT検査ができるため、精度の高い診断が可能だ。前述したように、同じ医療法人で7つの耳鼻咽喉科を展開しており、術後は近くのグループクリニックで「坂口耳鼻咽喉科」と同等のケアを受けることもできる。診察から術後まで、丁寧かつ柔軟に対応してくれるのも心強い。

「以前は身体への負担が大きく、入院期間も長いなど、ハードルが高かった手術ですが、近年の内視鏡技術の進歩によって選択しやすくなりました。手術を受けることによって、これから先の長い苦しみから解放されるメリットは大きいものです。慢性的な症状に悩み苦しんでいる方には、手術という選択肢があることを知ってほしいですね」と、西嶋先生。手術によって根治し、快適な暮らしを取り戻せる日も近そうだ。

Hospital Data



医療法人SSC

坂口耳鼻咽喉科

〒819-0025 福岡市西区石丸2-40-26
☎092-894-1115
http://ssc-jibi.com

診療科目

耳鼻咽喉科

診療日

	月	火	水	木	金	土	日
09:00~12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:30~18:00	○	○	○	○	○	○	○

休診：祝日 ※日曜の診察は9:00~12:00、14:30~17:00

複数の医療機関を展開しており グループ間で連携した治療も可能

専門的かつ質の高い治療を提供

坂口耳鼻咽喉科は福岡県内で7つの耳鼻咽喉科を展開する医療法人SSCグループの一員。初診をグループ院で受け、手術を坂口耳鼻咽喉科で行なうこともあり、術後のケアを近所のグループ院で受けることも可能だ。また、同グループの医師はシフト制で複数の医院で診

察を行なっており、どの医院であっても各分野のプロフェッショナルの診察が受けられる。「複数の医師が診ることで、新たな疾患が見つかることもあります」と西嶋先生。多角的なアプローチが受けられるのも同院の魅力といえる。

医療法人SSC

■坂口耳鼻咽喉科(本院) ※入院・手術
福岡市西区石丸2-40-26
☎092-894-1115

■天神耳鼻咽喉科
福岡市中央区天神1-10-5 第2明星ビル2階
☎092-717-1105

■赤坂サージクリニック
耳鼻咽喉科 ※日帰り手術
福岡市中央区赤坂1-14-35 赤坂門Aビル2階
☎092-718-7511

■西部クリニック 耳鼻咽喉科
福岡市西区西都1-4-4
☎092-805-5115

■工藤耳鼻咽喉科 ※日帰り手術
福岡市東区香椎駅前2-12-54
オリジビル103号
☎092-663-1550

■坂口医院 ※入院・手術
福岡県大牟田市正山町1-2
☎0944-56-5511

■ふなごクリニック耳鼻咽喉科・内科
福岡市西区福重1-3-1 ☎092-883-7711

各分野のスペシャリストが集結! 専門的で質の高い治療を提供する

慢性副鼻腔炎に関しては「内視鏡下副鼻腔手術」、アレルギー性鼻炎に対しては「粘膜下鼻甲介骨手術」や「経鼻腔の翼突管神経切除術」、中耳炎の場合は「鼓室形成術」や「鼓室内チューブ留置術」、慢性扁桃炎のときは「口蓋扁桃摘出術」という具合に年間を通して数多くの手術を実施。7つの耳鼻咽喉科を展開する医療法人SSCグループには、各分野のスペシャリストが集結しており、より専門的で質の高い治療を提供できるのも同法人の強みといえるだろう。また、関連施設には保育所や学童保育があり、手術時は子どもの一時預かりにも対応するなど、誰もが安心して手術を受けられる環境が用意されている。



術名別手術件数(入院・日帰り手術)

●内視鏡下鼻・副鼻腔手術	1008例
●経鼻腔の翼突管神経切除術	1022例
●粘膜下鼻甲介骨切除術	1336例
●鼻中隔矯正術	495例
●口蓋扁桃摘出術	502例
●アデノイド切除術	56例
●鼓室形成術	47例
●UPPP(いびきの手術)	46例
●ラリンゴマイクロスル	88例
全身麻酔手術症例	1434例

(2020年1月~12月)